



こどもクリニックニュース

NO. 152 平成24年9月1日発行
ともながこどもクリニック

休診の予定

年末までは、臨時の休診の予定はありません。
なお、水曜日は一日休診です。

休日診療の予定 (10月まで)

当院は下記の予定で休日診療を行います。これは加須市の「小児科休日診療」の一環です。

9月17日(月) 敬老の日
9月22日(土) 秋分の日
10月8日(月) 体育の日

診療受付時間は午前8:30~12:00までです。
それ以外の日曜・祝日ならびに水曜日は、休診です。

11月から来年3月まで、例年同様に日曜・祝日の休日診療が実施される予定のようです。

院長の予定 (2012年10月まで)

9月	24日	(月)	3才健診	保健センター
10月	4日	(木)	就学児検診	水深小
	5日	(金)	3ヶ月健診	保健センター
	17日	(水)	内科健診	にしき保育園
	31日	(水)	9ヶ月健診	保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。



不活化・ポリオワクチン 接種開始です

9月1日より全国一斉に、待望の不活化ポリオワクチン接種が開始されました。対象となるお子様は、生後3か月以上で、まだポリオワクチン接種が完了していない方です。

まず、標準的な接種スケジュールを説明します。皆様良くご存知の「三種混合ワクチン」と全く同じで、初回接種3回と追加接種1回、合計で4回の注射です。

不活化①→不活化②→不活化③ →→→ 不活化④
(初回接種/3回、3~8週) (追加接種)

※追加接種は、初回接種③のあと(6ヶ月~)1年後くらいが標準です。ただし、その有効性についての調査・検討が終了していないので、現時点では公費接種はできません。年内をめどに決定される予定とのことです。

すでに自費で不活化ワクチンを複数回接種している方は、残りの回数分の接種をすれば良いそうです。

また生ポリオワクチンを1回接種した(飲んだ)方は、不活化ワクチン①を済ませたものとみなし、残りの不活化ワクチン②以降を接種してください。

標準的なスケジュールよりも、接種間隔が空いてしまった場合でも、気づいた時点で再開して、最終的に合計4回の接種が完了すれば良いそうです。

ポリオ生ワクチン接種を2回済ませた方は、不活化ワクチンは不要です。

ワクチンの量は十分あるそうですが、短期間に多くの方が集中して接種を希望された場合には、一時的なワクチンの不足が起こる可能性があります。日本国内で自然のポリオが流行している事はありませんので、焦らないで接種計画を立ててください。海外への渡航予定のある方は、その旨お知らせください。

インフルエンザワクチン 接種予定

当院では例年通り、完全予約制で行います。
予約受付は、9月18日（火）より開始します。
電話でもOKです。

13歳未満のお子様は、2～4週間くらいの間隔での2回接種がおすすめです。あらかじめ2回分の予約を済ませられることをおすすめします。

接種開始は10月15日（月）を予定しています。

赤ちゃんのワクチン・相談会

次回開催は

日時：9月9日（日曜）9:00～

場所：当院待合室

申込：受付窓口（電話でも可）

内容：分かりやすいワクチンのしくみ
同時接種の利点と欠点
接種スケジュールを決める「こつ」
いろいろなご質問へのお答え、など。

よくある質問や、標準的なスケジュール（またはお勧めパターン）の案内は、これまで通り当院スタッフも対応いたしますので、遠慮なくお尋ねください。

ワクチンデビューは「生後2ヶ月の誕生日」から！

この数年で、0歳台の赤ちゃんが接種できるワクチンの種類が急激に増えてきました。公費（無料）で接種できるワクチンは、BCG、三種混合、ポリオ、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの5種類。自費（有料）で接種できるワクチンはロタ、B型肝炎、インフルエンザがあり、合計で8種類です。三種混合とポリオは近い将来、両者を合わせた四種混合ワクチンになる予定とはいえ、複数回の接種が必要なワクチンが多く、スケジュールを立てるのに悩んでいる方も多いようです。

日頃の診療や予防接種の時には、短時間のワンポイントアドバイスしかできません。保護者の方や赤ちゃんたちに、無理なく、かつできるだけ早く接種を進めていただくための相談会です。

多くの方の参加をお待ちしています。

感染症の情報

8月下旬には、ヘルパンギーナと手足口病も少なくなってきたようです。でもまだ流行は終わっていません。もうしばらくは注意してください。その他少ないながらも、胃腸炎と溶連菌感染症が見られます。

夏休みの間も、マイコプラズマ感染と思われる肺炎や気管支炎の患者さんが多かったです。特に小学生の年代のお子様が目立ちました。新学期が始まってからも注意が必要のようです。

マイコプラズマ肺炎の方で、よく見かける経過

最初に熱が出る。急に高熱が出ることもあれば、だらだらと微熱が続くこともある。数日過ぎると咳が出始め、だんだんとひどくなる。通常、本人は元気で、食欲もある。でも「普通の風邪にしては長い」と感じてレントゲン写真を撮ってみると、肺炎だと分かった。というパターンです。

診断が確定したら、抗生剤を処方して治療します。ほとんどの方は入院もせず、飲み薬だけで治ります。ただし咳が完全に止まるまでには2週間前後かかる方が多いようです。



残暑お見舞い

厳しい残暑が続いています。
2学期は、夏の疲れが残っているところに運動会などのイベントが控えています。

ひきつづき熱中症予防など、お子様の体調管理をお願いします。



こどもクリニックニュースの無料郵送サービスをしています！

郵送をご希望の方は、受付でお申し込み下さい

携帯用ホームページ



ともながこどもクリニック

加須市下高柳 1633-1

TEL 0480-66-4150